

4. せきともこ 一般質問（概要）

一般質問とは、市議会議員が市の一般事務について、議長の許可を得て質問することができる、と定めています（日野市議会会議規則第62条）。市の仕事全般について、市長や教育長、担当部署などに「現状はどうなっているか」「今後どうしていくのか」を直接たずねる場です。

議会の様子は、議事録のほかにアーカイブ動画で日野市HPより視聴できます。→

<https://hino-city.stream.jfit.co.jp/>



【テーマ】人材交流でネットワークを地域資産へ

【概要】今日・明日の課題ではなくても、10年後、20年後、30年後の日野市を見据えた中長期的な視点で提案することも議員の役割だと考えています。

人口減少や職員減少が進む中、採用強化だけでは持続可能な行政運営は難しくなっています。私は、人事交流や研修で築かれた職員のネットワーク、副業・兼業人材、大学、企業、元職員などとのつながりを「地域資産」として活かし、行政だけで抱え込まない新たな自治体経営を提案しました。また、日野市に関わり続ける人（関係人口）との協働を通じて、地域課題の解決につなげていく視点について提案しました。

① 人口減少時代の人材戦略

Q 人口減少や採用環境の変化が続く中、日野市は今後の人材確保・人材育成をどのように考えていますか。

A 職員確保は重要な課題であり、採用活動の強化に加え、人材育成やDX、外部人材との連携も進めながら、限られた人員で持続可能な行政運営を目指していく。

② 人材交流の価値

Q 職員交流や庁外研修で築かれたネットワークを、市はどのように評価していますか。

A 人材交流は知識や経験だけでなく、外部との信頼関係やネットワークを築く機会であり、行政運営にとって大きな財産であると認識している。

③ ネットワークは地域資産

Q 職員が築いた人的ネットワークを「地域資産」として活かす考えはありますか。

A ネットワークや信頼関係は重要な資産であり、組織として活かしていくことは重要な課題である。

④ 関係人口について

Q 人口減少時代において、「関係人口」をどのように考えていますか。

A 関係人口は単なる人手不足を補う存在ではなく、知識や経験を持ち寄り、地域とともに価値を創るパートナーとして重要である。

⑤ 市長への質問

Q 人口減少・職員減少が進む中、これからの自治体経営をどう考えますか。

A 人材交流で生まれるネットワークや信頼関係を地域資産として活かし、「人を増やす」だけでなく「つながりを増やす」ことも重要である。行政・企業・大学・市民・関係人口との協働によるまちづくりを進めていく。

【提案ポイント】

- ✓ 人を増やすだけでなく、つながりを増やす
- ✓ 行政だけで抱え込まない
- ✓ 人材交流で築いたネットワークを地域資産へ



市政・市議会についてのご意見・ご要望をお聞かせください。

TEL:070-4018-9051

E-mail:office@seki-tomoko.com

日野市議会議員／都民ファーストの会

せきともこ



せきともこ
公式ホームページ/Instagram
日々の活動を報告しています。



日野市議会議員

せきともこ

都民ファーストの会

プロフィール

鹿児島県徳之島出身。日野市で女性活躍推進、創業支援に12年取り組む。また仕事をしながら義父母の介護、看取りを経験し、現在は遠距離で認知症の実母の介護中。日野市日野在住。
家族：夫・長女・長男・トイプードル



1. 令和8年度 第2回定例会と臨時議会を終えて

働く人も支える人もみんなと「とも」に未来をつくる！

令和8年第2回定例会（6月1日～6月17日）に続き、臨時議会（7月30日）が開催されました。今回の議会では、補正予算や条例改正、請願などについて審議が行われました。補正予算には、前回の一般質問で提案した猛暑対策に関する事業も盛り込まれ、市民の安全を守る取組が一步前進しました。また臨時議会では、物価高騰、長引く中東情勢の影響を受ける市内事業者に対する緊急支援対策が審議されました。

そして今回の一般質問では、「関係人口」をテーマに、地域と多様な人材がつながり、地域課題の解決や新たな価値創出につながる仕組みづくりについて提案しました。

この議会レポートでは、補正予算のポイントや一般質問の内容を中心に、第2回定例会と臨時議会での議論をご報告します。

2. 令和8年度第2回定例会

第2回定例会では、総額7億2,804万9千円の一般会計補正予算を可決しました。主な内容は、中小企業の賃上げ支援、「ひの健幸アプリ」を活用した健康増進・物価高騰対策、学校給食食材費への追加補助、保育・介護・障害福祉・農業分野の事業者への物価高騰対策です。また、前回の一般質問で提案した「猛暑対策」と方向性を同じくする事業として、東京都補助金を活用した児童館へのエアコンやサーキュレーター整備など、子どもたちの安全な居場所づくりも盛り込まれました。引き続き、予算が市民生活の向上につながるよう、執行状況をしっかり確認してまいります。

第2回定例会 補正予算のポイント

「くらし・子育て・地域経済」を支えるための具体的な予算配分をまとめたものです。

地域経済を応援

2億1,903万円



中小企業の賃上げ支援

建設・製造・運輸・郵便業の人材確保と定着を強力に後押しします。

子どもと市民を守る



1,593万円

「ひの健幸アプリ」の活用
健康増進と物価高騰対策を兼ねた市民へのインセンティブ付与を実施。



2,358千円

児童館の暑さ対策
エアコンやサーキュレーター等の整備を行い、子どもたちの安全な居場所を確保。

3. 7月30日臨時議会にて物価高騰対策を盛り込んだ補正予算が成立

臨時議会では、一般会計補正予算（第4号）1億8,307万千円を可決しました。主な内容は、長引く物価高騰や中東情勢の影響を受ける市内中小企業への緊急支援と、再配達削減による物流負担軽減・CO₂削減を目的とした「置き配バッグ配布事業」です。中小企業支援では、セーフティネット保証5号の認定を受けた事業者を対象に、法人30万円、個人事業主15万円の給付金を支給する予定です。置き配バッグは市内3,000世帯を対象に配布されます。

